

	していない	時々している	している	無回答
<p>1,子どもを呼び捨てにしていますか？</p> <p>お預かりしている大切な子どもたち、一人の意思ある人間です。子どもを尊重するためにも呼び捨てせずに「〇〇ちゃんとお呼びしましょう」</p>	25	7	1	0
<p>2、だまって子どもを抱いていませんか？</p> <p>子どもに「〇〇ちゃん、抱っこしようね」というように、言葉がけをしてから抱きましょう。</p>	29	2	2	0
<p>3、無言でお世話をしていますか？</p> <p>「ごはん食べようね」「着替えしようね」など、何をするのか言葉を添えながらお世話しましょう。</p>	30	1	1	0
<p>4、子どもの腕を引っ張っていませんか？</p> <p>子どもの腕を引っ張ると、子どもが驚くだけでなくケガの原因となります。必要なことは言葉でも伝わるはず。</p>	28	4	1	0
<p>5、泣いている子に寄り添えていますか？</p> <p>人は誰でも泣きます。決して「赤ちゃん」だから泣くものではありません。安心して泣くことができる環境を整えるのも保育です。</p>	18	3	12	0
<p>6、ひとり遊びしている子に声がけしていませんか？</p> <p>ひとり遊びも、子どもの育ちには必要な遊びです。集中しているときは、よけいな声がけや干渉をせずにそっと見守り、その子の遊びを保障しましょう。</p>	12	16	5	0
<p>7、おもちゃをばらまいていませんか？</p> <p>棚に並んでいるおもちゃの中から、子どもが手を伸ばして選べるような環境を整えましょう。片付けも子どもが自分でできるような工夫があると、自立への援助になります。</p>	16	11	6	0

<p>8、子どもの頭上で大きな声を出していませんか？</p> <p>頭の上で何かをされたら誰でも不快です。子どもの頭上での配膳も危険。足下に寄ってくる子どもも多いので大変かもしれませんが、頭上でのやりとりはできるだけ避けましょう。</p>	3 0	2	1	0
<p>9、子どもを脅していませんか？</p> <p>子どもに「お散歩つれて行かないよ」「おやつあげないよ」「フルーツあげないよ」と言っていますか。「～～させてあげない」「～～してあげない」と子どもを脅しても、子どもは怯えるだけ。して欲しいことを具体的に伝えましょう。</p>	2 1	1 0	2	0
<p>10、「ダメ」ばかり言っていませんか？</p> <p>「ダメ」ではなく、何をしたらよいか子どもに伝えましょう。例えば「走っちゃダメ」は「歩いてね」というように。具体的に伝えること。</p>	1 8	1 0	1	4
<p>11. 発言や行為を否定していませんか？</p> <p>人は否定されるとやる気を失います。そして何もしなくなります。さらに自分で考えなくなります。自信も無くします。認められることで自分に自信を持てるのです。</p>	2 4	4	1	4
<p>12 プライバシーを守っていますか？</p> <p>おむつ交換や着替え、おもらしのお世話など、人目につかないところで行いましょう。子どもにもプライバシーがあることを忘れないで。ケガの観察や体調管理の一環として、子どもの服をめくったり、ズボンをおろしたりするときは、子どもにひと声かけてから、が鉄則です。</p>	1 9	5	5	4